

狭山・境緑道マネジメントプラン(案)

令和 8 (2026) 年 1 月
東京都 建設局

目次

はじめに

はじめに

I 公園の概要……………2

- 1 都市計画の概要
- 2 開園の概要
- 3 主な公園施設
- 4 成り立ち・基本的な性格
- 5 周辺の土地利用・自然環境
- 6 利用概況及び特色

II 目指す姿及び重点取組、ゾーン別基本方針……………4

- 1 目指す姿及び重点取組
- 2 ゾーン別基本方針

III 図面・写真……………7

- 現況平面図
- 周辺土地利用図(空中写真)
- 周辺土地利用図(地図)
- 園内の写真

IV 資料編……………10

- 公園の沿革
- マネジメントプラン策定履歴
- 利用状況等データ
- 主な催し物
- 主な活動団体
- 関連する行政計画等

公園別マネジメントプランは、都立公園全体の整備・管理運営の指針として、東京が目指す公園づくりの方向性を示すパークマネジメントマスタープランに基づき、公園ごとの性格・役割を踏まえて各都立公園の10年程度の目標や維持管理・運営管理等の取組方針を定めたものです。

改定にあたっては、今後新たな10年間を見据えた公園づくりを目指して、「公園別マネジメントプラン（共通編）」（以下、「共通編」という。）と「公園別マネジメントプラン（個別公園編）」（以下、「個別公園編」という。）の2編構成として取りまとめています。

共通編は、全ての都立公園の質を向上させるために取り組む基本事項を明らかにし、維持管理・運営管理・公園整備の3つの視点から実施すべき取組内容を示すとともに、全ての視点に共通する4つの事項（戦略的広報、協働、リサーチとマーケティング、デジタルトランスフォーメーション）における取組内容を定めています。

個別公園編は、それぞれの公園の特性を生かした多様な公園を創出するため、公園ごとに目指す姿や重点的な取組などを定めています。

共通編と個別公園編を踏まえたマネジメントを推進することにより、都立公園全体の機能や価値を向上させていきます。

共通編は別冊となっておりますので、本冊と合わせてご参照ください。

マスタープランが示す目標の実現に向け、施策を効果的に推進していくため、取組の進捗状況の確認と検証を行いながら、適切な進行管理を行っていきます。また、取組の進捗や社会状況の変化に応じて、取組を弾力的に進めていくことが必要であり、取組の内容や目標を発展的に見直していきます。

I 公園の概要

1 都市計画の概要

都市計画は定められていない。

2 開園の概要

名 称 都立狭山・境緑道（さやま・さかいりょくどう）

開 園 日 昭和 54 年 6 月 1 日

開園面積 84,561.55 m²（令和 7 年 11 月 1 日現在）

公園種別 緑道

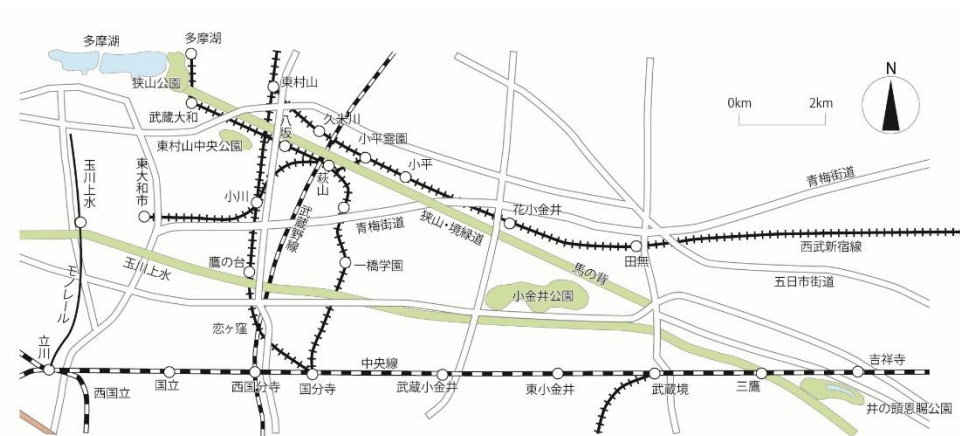
所 在 地 小平市花小金井南町一・二・三丁目、花小金井六丁目、鈴木町二丁目、天神町一・二丁目、大沼町一丁目、美園町一丁目、東村山市萩山一・二・三丁目、廻田町二丁目、美住町二丁目、東大和市清水一・二丁目、西東京市向台町三・四・五・六丁目、新町三・四・五丁目

アクセス 西武多摩湖線「武蔵大和」・「八坂」・「萩山」、西武新宿線「小平」・「花小金井」

3 主な公園施設

遊具広場、馬の背

園内マップ



4 成り立ち・基本的な性格

本緑道は、多摩湖から境浄水場までの送水路（管）の左右に設置され、緑道と並行して幅4mの都道253号保谷狭山自然公園自転車道線（通称：多摩湖自転車歩行者道）自転車・歩行者専用道が通っており、緑道と隣接する小金井公園や狭山公園など、沿道の公園と合わせての散策やサイクリングを楽しむことが出来る。

西武線と並行した区間が長く、遠方からのアクセスポイントも豊富ではあるが、散策やサイクリング等のレクリエーションとしての利用や買い物や通勤等の生活道路の一部としての利用など、地域住民に密着した緑道として利用されている。

5 周辺の土地利用・自然環境

(1)周辺の土地利用

- ・緑道の起点は都立狭山公園に位置し、また沿道には東村山中央公園、小金井公園、市立の公園緑地が立地している。
- ・東村山市内の沿道のほとんどは、低層住宅地となっているが、小平市以東においては低層住宅地や駅前の市街地を通る。

(2)自然環境

- ・四季折々にサクラ・アジサイ・ツツジ・フジ・サルスベリ・ハギ・ヤマブキ・ツバキなどの花が咲く。
- ・傾斜は緩やかで、起点と終点の高低差は、総延長10.5kmに対して、約25mである。

6 利用概況及び特色

東大和市から西東京市までの10.5kmにわたっており、散策やサイクリング、生活道路としての利用など、様々な利用がある。

①四季折々の花と緑

主な植物はサクラ・アジサイ・ツツジ・フジ・サルスベリ・ハギ・ヤマブキ・ツバキなどがあり、特に春の芽吹きとツツジの開花時が素晴らしい。

②隣接する公園へのアクセス

北西側から狭山公園、東村山中央公園、小金井公園と、緑道によりつながっており、あわせて楽しむことができる。

Ⅱ 目指す姿及び重点取組、ゾーン別基本方針

1. 目指す姿及び重点取組

目指す姿

緑道周辺の地域特性を生かし、健康づくりや景観の保全など魅力を高め、地域の生活に根差した緑地帯として、豊かな緑を繋いでいく、魅力あふれる緑道としていく

この目標を達成するため、本公園では次のことに重点的に取組んで行く。

なお、各取組の具体的内容等については、事業計画等の作成時にそれぞれ設定し、マネジメントサイクルのなかで見直しを行っていく。
また、各項目及び施策名はパークマネジメントマスタープランと連動している。

重点取組

(1) 特色あるイベント等の充実

【施策 6 にぎわいをふやす】

- 緑道ガーデンパートナーズ制度による花壇の設置・管理等、地域全体の魅力向上や活性化を視野に、自治体や近隣の文化施設、地元企業等多様な主体と連携した取組を進めます。

(2) 多様な過ごし方ができる空間づくり

【施策 7 笑顔をふやす】

- ベンチを設置するなど居心地の良い空間を創出し、緑に囲まれて過ごせるポイントづくりを進めます。

(3) 健康増進に向けた環境の整備

【施策 7 笑顔をふやす】

- 高齢者をはじめ誰もが気軽に健康増進を図れるように、公園の特性や利用状況を踏まえ、健康遊具の設置やウォーキングコースの設定等を行います。

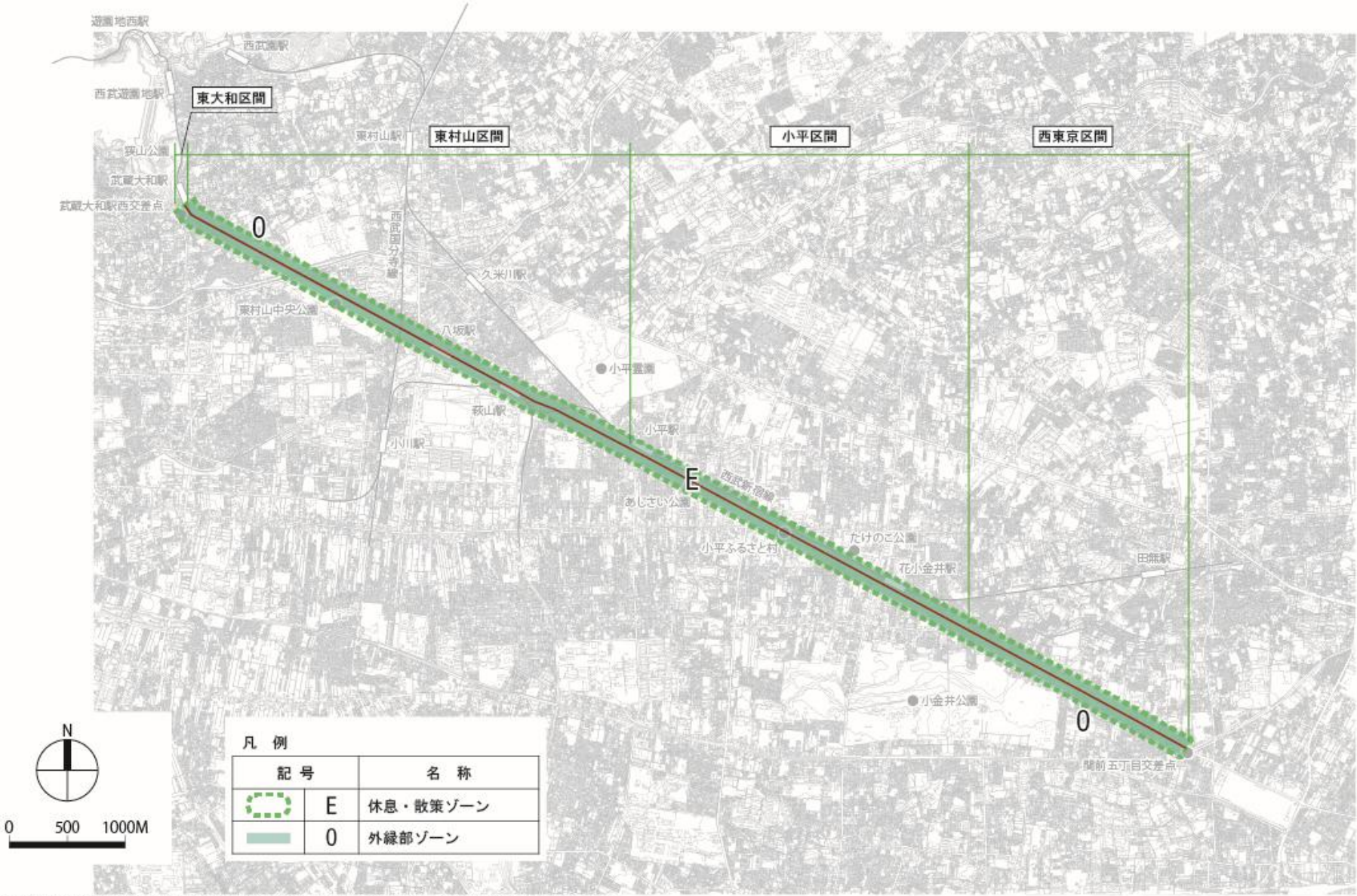
(4) 管理運営を通じた交流の促進

【施策 8 つながりをつなぐ】

- 新たな交流のきっかけとなるボランティアへの参加機会の提供や、幅広い世代の来園者が交流できるイベントやプログラムを実施します。

2. ゾーン別基本方針

ゾーン別基本方針図 狭山・境緑道



この地図は、国土院の提供(平25第444号)を得て作成した東京都市地図(S=1:2,500)を使用(7都市基文案965号)して作成したものである。無断複製を禁ずる。

■ゾーン別基本方針

管理運営や改修整備等を重点的・効率的に実施していくために、園内の各ゾーンについて現況等も踏まえ機能・目的・自然的環境等により類型化し、ゾーン毎の基本方針を定める。

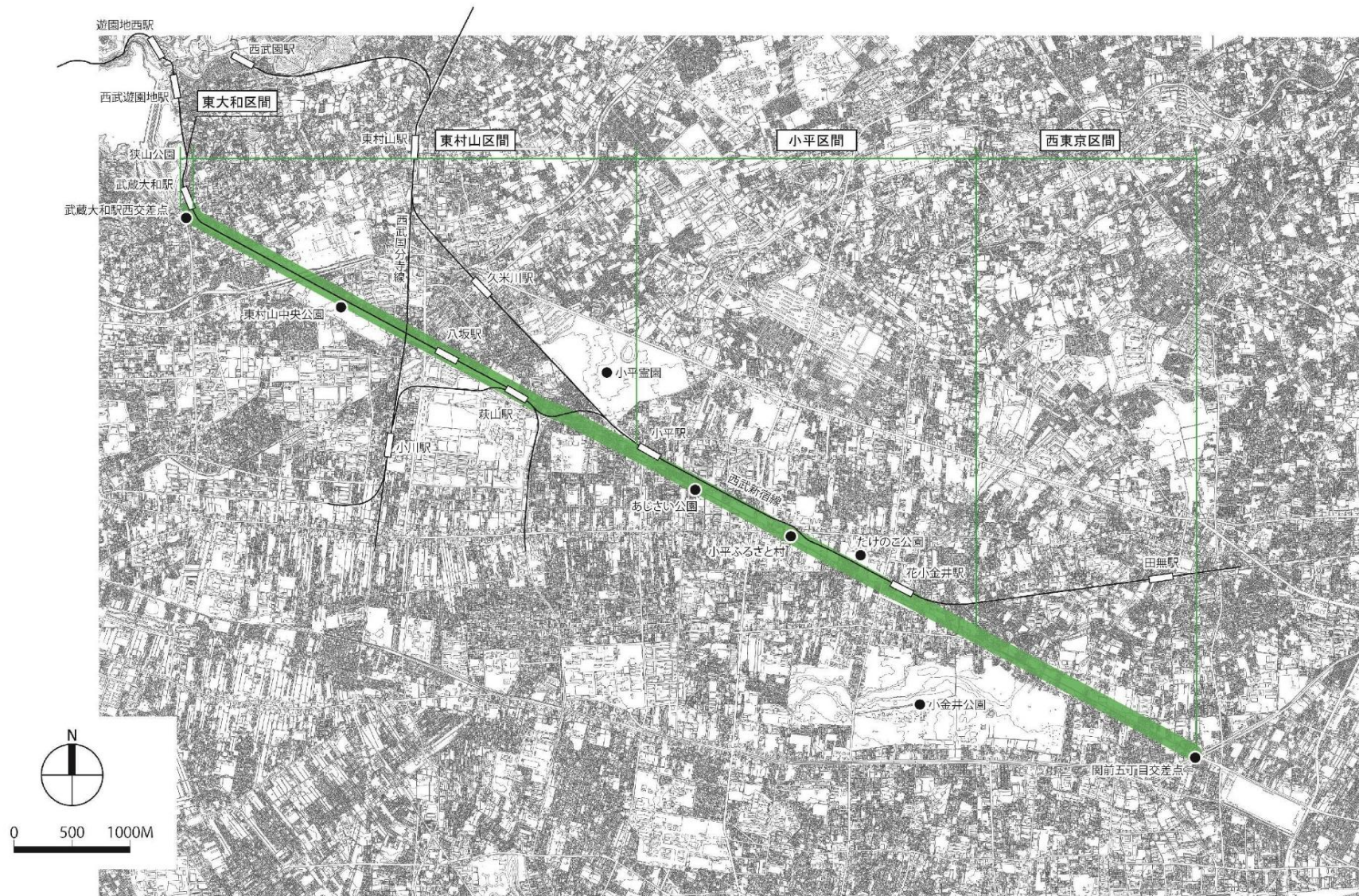
なお、ゾーン別基本方針は、原則として開園区域を対象に定めるものとし、新規開園区域があった場合は整備内容等を踏まえ、必要に応じ追記等を行う。

| 記号 | 区分 | 基本方針 |
|----|----------|---|
| E | 休息・散策ゾーン | <ul style="list-style-type: none">・快適に通行ができる緑道のあるゾーン（全線） 歩行者や自転車が安全で快適に通行できるよう対応していく。また、近隣の公園等と連携した利用に対応していく。 |
| O | 外縁部ゾーン | <ul style="list-style-type: none">・民有地等や公道に接する公園外縁部 本緑道の外縁部で、幹線道路に面する所では、道路植栽等と一体的に良好な沿道景観の形成を図り、区画道路を介して住宅地等に面する所では、見通しを確保し、住宅地等に対する良好な景観の提供を図っていく。区域の大半が、住宅地等と接するため、景観面のほか、落ち葉や落枝、越流水などの直接的な悪影響等を及ぼさないよう対応していく。 土砂崩れ等防止のための法面保護や浸水被害防止のための貯留浸透機能が十分発揮される緑地の保全及び植生管理を行う。 |

Ⅲ 図面・写真

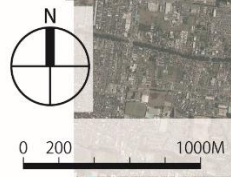
【現況平面図】

現況平面図 狭山・境緑道



周辺土地利用図(空中写真)

狭山・境緑道

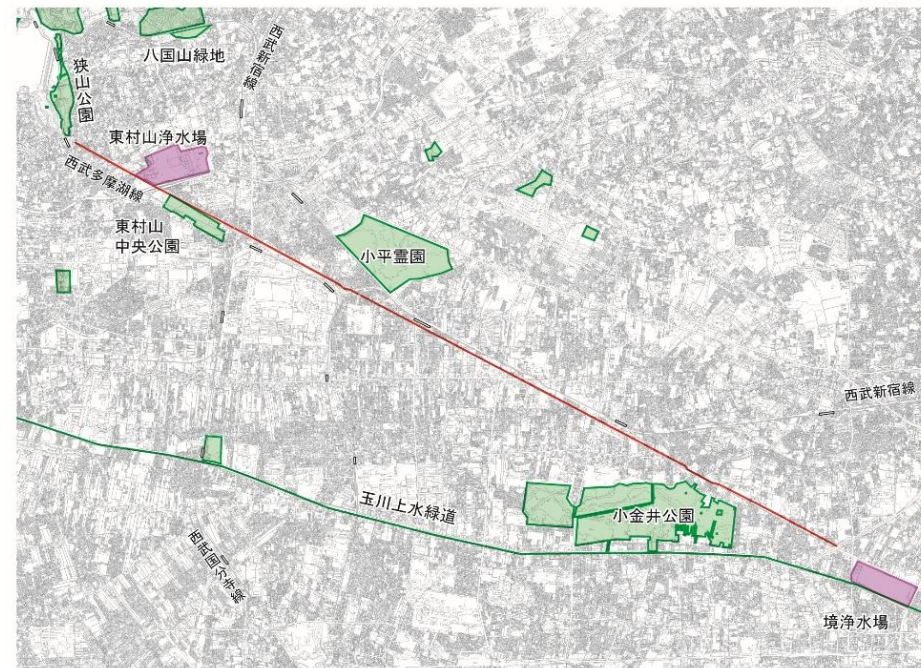


— : 開園区域
— : 都市計画決定区域

開園面積 8.45ha
撮影年月日 令和4年11月25日

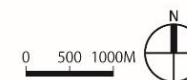
周辺土地利用図(地図)

狭山・境緑道



この地図は、国土地理院長の承認(平29関公第444号)を得て作成した東京都地形図(S=1:2,500)を使用(7都市基交第965号)して作成したものである。無断複製を禁ずる。

公園緑地 : 公園緑地
学校 : 学校
特徴的な建物(神社仏閣など) : 特徴的な建物(神社仏閣など)
開園区域 : 開園区域
— : 高速道路
— : 鉄道



園内の写真



小平～萩山



八坂駅西休憩所



馬の背



東村山市ベンチ・花壇



小平グリーンロードボランティア



花小金井付近

IV 資料編

■公園の沿革

| | |
|----------------|---------------------------------------|
| 昭和 52 年 5 月 | 小平市の通称水道道路の整備促進に関する陳情、趣旨採択 |
| 昭和 52 年 9 月 | 延長 6.6km、面積 2.64ha で告示 |
| 昭和 54 年 6 月 | 4.4ha を開園（小平市石神井川交差部付近～萩山駅） |
| 昭和 55 年 6 月 | 0.9ha を追加開園（東村山市空堀川交差部～東大和市武蔵大和駅付近） |
| 昭和 56 年 6 月 | 1.4ha を追加開園（西東京市向台 3 丁目～小平市石神井川交差部付近） |
| 昭和 59 年 6 月 | 0.7ha 追加開園（西東京市五日市街道交差点～西東京市向台 3 丁目） |
| 昭和 61 年 6 月 | 0.4ha を追加開園 |
| 昭和 61 年 12 月以降 | 道路拡幅に伴う減少等あり |
| 平成 15 年 6 月 | 0.8ha を追加開園 |

■マネジメントプラン策定履歴

| | |
|--------------|---|
| 平成 16 年 8 月 | パークマネジメントマスタープラン策定 |
| 平成 18 年 12 月 | 狭山・境緑道マネジメントプラン策定 |
| 平成 22 年 3 月 | 狭山・境緑道マネジメントプラン改定 |
| 平成 27 年 3 月 | パークマネジメントマスタープラン改定 狭山・境緑道マネジメントプラン改定 |
| 令和 4 年 3 月 | 狭山・境緑道マネジメントプラン改定 |
| 令和 6 年 3 月 | パークマネジメントマスタープラン改定 |
| 令和 8 年 3 月 | 狭山・境緑道マネジメントプラン改定 |

■利用状況等データ

1)年間利用者数の推移

| | 6 年度 | 5 年度 | 4 年度 | 3 年度 | 2 年度 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 年間総計 (人) | 1,169,248 | 1,508,256 | 1,580,278 | 1,630,869 | 1,680,866 |

2)月別利用者数の推移

| 6 年度 | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 |
|-------------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 年間総数 (人) | 84,601 | 84,094 | 60,108 | 36,952 | 55,513 | 91,992 |
| | 1 0 月 | 1 1 月 | 1 2 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 |
| | 98,295 | 112,254 | 125,454 | 145,386 | 127,439 | 147,160 |

■主な催し物(令和6年度実施分)

| 種別 | No. | 事業名 | 実施期間 | 参加人数(人) |
|------|-----|--------------|------|---------|
| 自主事業 | 1 | ノルディックウォーキング | 11 月 | 5 |

■主な活動団体(令和6年度調査)

| 団体名 | 活動内容 | 人数(人) |
|-----------------|----------|-------|
| 狭山・境緑道ガーデンパートナー | 花壇の管理 | — |
| 小彼岸桜の会 | 小彼岸桜の補植 | — |
| 西東京・狭山境緑道花の会 | 花壇の管理 | — |
| あじさい部会 | あじさいの手入れ | — |
| 齋藤素巖部会 | ブロンズ像の清掃 | — |
| 花街道 | 花壇の管理 | — |

■関連する行政計画等

- ・ 2050 東京戦略（令和 7 年 3 月）
- ・ 新たな都立公園の整備と管理のあり方について（答申）（令和 5 年 6 月）
- ・ 都市づくりのグランドデザイン（平成 29 年 9 月）
- ・ 東京都景観計画（平成 30 年 8 月）
- ・ 東京都福祉のまちづくり推進計画（令和 6 年 3 月）
- ・ 緑確保の総合的な方針（改定）（令和 2 年 7 月）
- ・ 都市計画公園・緑地の整備方針（令和 2 年 7 月）